

まちづくり交付金 事後評価シート
二見・亀ヶ池周辺地区

平成21年12月

愛媛県伊方町

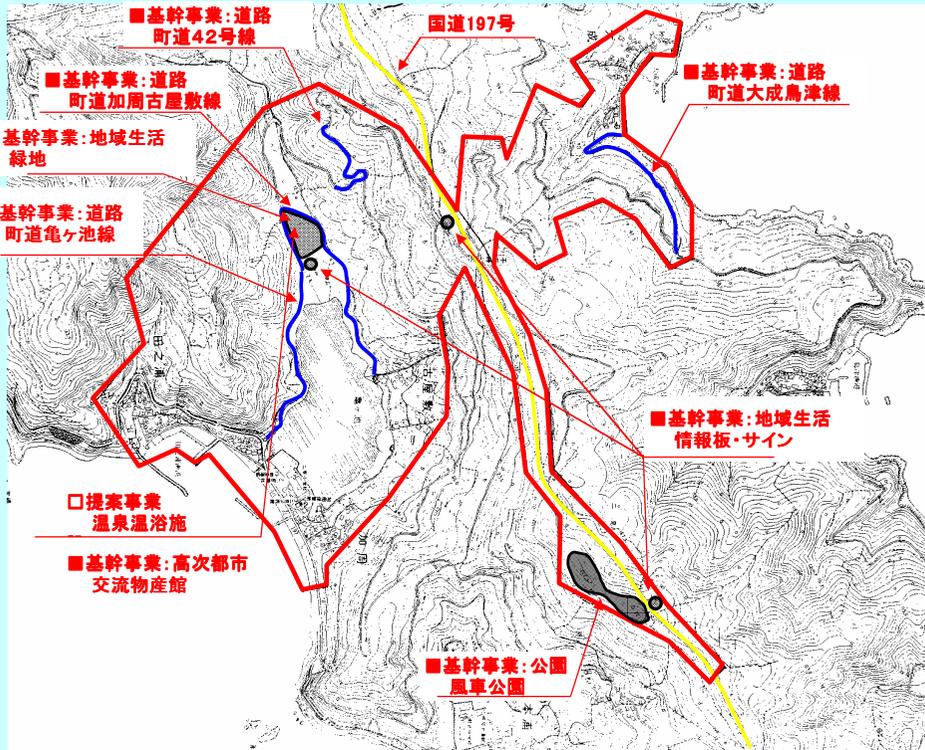
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	伊方町	地区名	二見・亀ヶ池周辺地区			面積	118ha					
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,155百万円	国費率	0.199					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業		町道改良事業(町道42号線、亀ヶ池線1工区、亀ヶ池線2工区・加周古屋敷線)、公園(風車公園)、高次都市施設(交流物産館整備)											
	提案事業		地域創造支援事業(温泉浴施設整備)											
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業		町道改良事業(町道大成島津線)、地域生活基盤事業(緑地、サイン、情報板)		近接地域から温泉浴施設へのアクセス道路を整備するとともに、緑地を整備しイメージアップを図る。また、サイン・情報板を整備することにより、利用者の利便性の向上を図る。		影響なし					
提案事業		なし												
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成19年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更		平成17年度～平成21年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	老人医療費1人あたりの費用	万円	63	H14	53	H21	—	62	△	あり なし	●	平成17年度をピークに数値は減少傾向にあるが、目標を達成するまでには至らなかった。また、アンケートを実施した結果、関節痛の緩和や、風邪をひきにくくなった等の意見があった。	H22.7
	指標2	国民健康保険医療費1人あたりの費用	万円	20	H14	18	H21	—	27	×	あり なし	●	平成18年度まで数値は上昇傾向にあったが、それ以降は横ばいに推移しており、一定の効果を確認できる。今後も、施設を十分に活用し利用度向上に努める。	H22.7
	指標3	観光入込客数	万人	11	H15	20	H21	—	8	×	あり なし	●	本事業を実施したことで、亀ヶ池温泉施設への入館者は増大したが、その影響によりきら館及びビクターズハウスへの入館者が減少へ推移したと思われる。	H22.3
指標4	小売業年間販売額	億円	15	H14	18	H21	—	15	△	あり なし	●	平成9年度をピークとし減少傾向と推移していたため、本事業の実施により小売販売額の浮揚を期待したが、目標の達成に至らなかった。今後は、温泉施設の効果の波及による小売販売額の下げ止まりを図りたい。	H26.3	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	亀ヶ池温泉施設への入館者数	人	170,023	H19			—	193,000				事業を実施した結果、施設までのアクセス向上が図られ、2年目にして来館者40万人を突破し町の観光交流スポットとして定着している。	H22.7
	その他の数値指標2	交流物産館における販売額	千円	37,962	H19			—	45,000				出店者数は上昇を続けており、それに伴い販売額も順調に伸び続けている。また、交流物産館では、特産品のPRや地域経済の刺激となり所得の向上となっている。	H22.7
	その他の数値指標3	フェリー利用者数	人	185,110	H14			—	233,000				毎年の上陸者、乗込者数は順調に推移し、交付金を活用し事業実施した、H18～H20の期間で近年にない利用の伸びとなり、相乗効果を確認できる。	H22.2
その他の数値指標4	亀ヶ池温泉利用者に対するアンケート実施	%	62	H16			—	80				平成16年度に実施したアンケートと同様のものを実施し、住民の満足度を計測した。その結果、いづれの質問についても高評価となっている。特に質問3については、評価が高く、温泉施設整備は地域の活性化となっていると言える。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で道路整備及び施設整備を実施したことにより、亀ヶ池温泉施設は地域住民のみならず都市住民との交流が生まれ、新たなコミュニケーションの場として活用されている。また、毎年度老人クラブがゲートボール大会を開催し高齢者のいきがいづくりの場となっている。 地域住民の新たな雇用の場となっており、地域経済の刺激となっている。 温泉施設内の交流物産館で産品を出品することにより、PRが図れている。 													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	伊方亀ヶ池温泉まちづくり懇話会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	運営・管理については、指定管理者に委託し、町は後方支援に徹する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	亀ヶ池温泉施設内の交流物産館での特産品個人・団体販売及び老人クラブによる浴槽清掃					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	持続的なまちづくり体制を確立するため、今後も活動を継続する。		

様式2-2 地区の概要

二見・亀ヶ池周辺地区(愛媛県伊方町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 町民の健康増進と交流、観光、定住を促進する温泉を活かしたまちづくり 目標1: 温泉温浴施設を整備し、ふれあい・交流・保養拠点を創造することにより、町民の健康増進を図る。 目標2: 佐田岬半島と温泉の観光資源を活かし、観光客を誘導することにより、地域振興及び活性化を図る。	1. 老人医療費 1人あたりの費用	単位: 万円	63	H14	53	H21	62	H21
	2. 国民健康保険医療費 1人あたりの費用	単位: 万円	20	H14	18	H21	27	H21
	3. 観光入込客数	単位: 万人	11	H15	20	H21	8	H21
	4. 小売業年間販売額	単位: 億円	15	H14	18	H21	15	H21



■基幹事業: 町道42号線



■基幹事業: 町道大成鳥津線



■基幹事業: 情報板・サイン



■基幹事業: 町道亀ヶ池線



■基幹事業: 風車公園



■基幹事業: 交流物産館



■基幹事業: 町道加周古屋敷



■基幹事業: 緑地



□提案事業: 温泉温浴施設

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 交流物産館の整備により、都市住民との交流が生まれ地場産品の販売による所得向上、PRの促進が図られた。 温泉の入館者数は2年目で40万人を越えており順調に推移している。また、周辺観光施設については減少傾向となっているが、スピードは鈍化している。 町道改良(カーブ改良・路盤改良)により、温泉施設及び集落へのアクセスが向上と交通安全空間の確保ができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設における魅力的かつ地域の特徴を活かしたサービスの向上を図る。 周辺類似施設(きらら館等)の観光客数を浮揚させるため、温泉施設内の交流物産館と各施設が商品の品揃えやサービスの面で特徴を作り出すことが必要。 各施設でのPRの強化が必要。 医療費の軽減。